

# 三重県経済の動向

No.480

HRI(株)百五総合研究所 地域調査部（谷ノ上・前田）

**【現在の景気】**：緩やかに持ち直している。個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、生産は持ち直し、雇用は高水準で推移。

**【当面の見通し】**：緩やかな持ち直しが続く。生産、設備投資の持ち直しが期待され、雇用は高水準を維持する。

## 個人消費：一部で弱い動き

7月の百貨店・スーパー販売（既存店、確報）は前年比2.6%減で12か月連続の減少。7月のコンビニ販売（確報）は4.5%増で、前年との比較が可能な昨年7月以降13か月連続で増加。家電大型専門店販売額は6.4%増で3か月ぶりに増加。ドラッグストア販売は28か月連続の増加。8月の乗用車販売台数（普通＋小型＋軽）は7.6%増で10か月連続の増加。普通（3.8%）と小型（9.1%）がいずれも2か月ぶりに増加、軽（+9.9%）は5か月連続で増加。7月の家計消費支出（津市・二人以上）は5.2%増で5か月ぶりの増加。

## 住宅建築：一服

7月の住宅着工戸数は、前年比14.6%増で3か月ぶりに増加。分譲（△5.8%）が2か月連続減少、持家（△9.2%）が6か月連続減少したものの、貸家（+57.4%）が4か月ぶりの増加。3か月後方移動平均では3か月連続で減少。床面積は3か月ぶりの増加。

## 設備投資：持ち直し

7月の建築着工床面積（非居住用）は、前年比45.2%増で2か月ぶりに増加。3か月後方移動平均では3か月ぶりの増加。8月の貨物自動車販売（普通＋小型＋軽）は、前年比19.6%増で2か月連続の増加。3か月後方移動平均では4か月連続の増加。普通貨物（14.0%）と小型貨物（3.6%）がいずれも3か月ぶりに増加し、軽貨物（+31.2%）は5か月連続で増加。

## 公共工事：横ばい

8月の公共工事請負件数は、前年比14.7%減となり2か月連続の減少、年度累計では5.6%減少。請負額は9.8%減で3か月ぶりに減少したが、年度累計では3.7%増加と、3か月連続の増加。減少の主な要因は、昨年度、中部地方整備局（国）において「東海環状」関連の大型工事が、また志摩市（市町）において「阿児町東部地区小学校新築」関連の大型工事があった影響等による。

## 輸出入：足踏み

7月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）＋津港）の通関輸出額（速報）は、前年比11.7%減で2か月連続の減少。主要港である四日市港は11.2%減で2か月連続の減少。四日市港では、品目別で科学光学器械、プラスチックなどが増加したものの、自動車、鉱物性タール及び粗製薬品、有機化合物などが減少。県内2港の通関輸入額は、2.3%増と2か月ぶりに増加。

## 生産活動：持ち直し

6月の鉱工業生産指数（季調済）は132.8と前月比（△2.1%）で3か月ぶりに低下したが、原指数は132.6と前年比（+0.5%）では3か月連続で上昇。業種別に前月比をみると、生産用機械工業、輸送機械工業、食料品工業などが上昇したが、電子部品・デバイス工業、プラスチック製品工業、非鉄金属工業などが低下。在庫指数（季調済）100.5で、前月比1.0%低下と2か月ぶりに低下。

## 雇用情勢：高水準続く

7月の有効求人倍率（季調済）は1.65倍で、前月比0.03ポイント低下したものの、51か月連続で1倍を超え、全国を大きく上回って推移。新規求人倍率（季調済）は2.24倍で、前月比0.13ポイント低下。新規求人数（原数値）を産業別にみると、建設業、輸送用機械器具、生産用機械器具、電子部品・デバイス・電子回路、金属製品、はん用機械器具などの製造業、小売業などは前年比増加したが、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、職業紹介・労働者派遣業などのサービス業（他に分類されないもの）などが減少。正社員有効求人倍率（原数値）は1.03倍となり、1倍を超えた。前年差は+0.20ポイントと、前年を上回って推移。

## （トピックス）

- ・ 当社が今年7月に県内事業所向けに実施した「景況調査」の結果（回収485件、回収率40.0%）によると、29年度上期の業況判断BSI（△6.7）は28年度下期（△3.6）よりマイナス幅がやや拡大したものの、29年度下期（△3.8）はマイナス幅がやや縮小し、改善する見通し。500万円以上の設備投資を実施する企業の割合は、2期連続で上昇し、下期も上向く見通し。合理化のほか生産能力や販売能力の増強など積極投資の割合が高まっている。一方、仕入価格の上昇と、人手不足の問題が懸念材料。人員「不足」の企業は5割超と平成11年の調査開始以来最高となった。